

「平成28年度 福岡市基本計画に係る実施状況の報告(案)」についての総合計画審議会委員からのご意見に対する回答

ご意見等		回答
基礎的データ	福岡市の将来人口推計で、ピークとなるのは何年で、何人か。また、そのときの若者率と高齢化率は。	将来人口推計における人口のピーク:2034年, およそ1,606千人 2034年の高齢化率:27.8% 2034年の若者(15歳~29歳)率:15.4%
基礎的データ	福岡市の現状や課題を想定した議論ができるよう、基本計画にのっとったグラフや資料だけでなく、「今どういう人口層が何人いて、どうなっているのか」などの基本的なデータも、審議会に提示していただきたい。	福岡市の現状を示す人口構成などの基本的なデータ等の参考資料について検討いたします。
評価	施策全体の評価にあたり、その下に位置づけられている個別の取組みがどうなのかという評価が必要。 そのための定量的な指標や、体系的な評価ができるような仕組みを検討して示してほしい。	施策毎に設定している個別事業の評価の合計を、その施策の評価としているものではありませんが、各施策に位置づけている事業の結果などをわかりやすくまとめる工夫を検討してまいります。
評価	評価結果について「甘いのでは」あるいは「厳し過ぎるのでは」の両方のご意見や、施策ごとの最終評価が、事業ごとのいろいろな項目を積み上げたトータルの評価として説明責任を果たせるようなものになっているのかなどのご意見が出たことを踏まえ、評価方法等を再度ご検討いただきたい。	進行管理や施策評価につきましては、平成24年度の総合計画策定からこれまで4年間、初めての試みとして取組んできましたが、審議会委員からのご意見を踏まえ、今後の評価方法について、様式の改善等を含め検討してまいります。
評価	施策の評価結果で、「やや遅れている」という施策に対して、今後どうするのか、あるいは検討されているのか、見直しなのか。	施策4-2については、現在の施策・事業で効果が出始めており、継続してまいります。 施策2-2については、地域において公民館を活用していただけるように地域活動を増やすといった取組みを継続してまいります。 施策8-7については、指標や取組内容を検討してまいります。
指標	指標自身の性質や、社会環境の変化等を捉え、妥当性のある新たな指標や付加的な補完指標を市として改めて考えていただきたい。	それぞれの成果指標が総合計画審議会への諮問・答申を経て議会の議決をいただいたものという前提のもと、現状や社会情勢変化等を踏まえた補完指標の追加等を検討してまいります。
審議会の進め方	福岡市をよくするために働く審議会にしたいと思う。ご検討いただきたい。	審議会が、今後の取組み等についてより建設的な議論ができる場となるよう、資料の内容を含め、会議の議題・進行・時間配分等について検討してまいります。

ご意見等		回答
施策評価 全体	これから先、福岡にどういった人たちが住むのか、住民登録をせずにそこで活動し続けるのかなどについて、都市の成長による住民の生活の質の悪化の問題を危機意識として持ちながら、福岡市としての迎え方、コントロールする仕組み等を考えていく必要があるのではないか。	今後も人口増加が見込まれる中、課題分析や、必要な取組みを検討してまいります。
施策 1-1 ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり	「施策1-1 ユニバーサル都市・福岡の推進」の成果指標「ユニバーサルデザインの概念の理解度」については、中間目標55%に対して現状値46.4%、「取組みへの評価」は、中間目標45%に対して現在35.8%で、ほとんど到達不可能な数字と思われるため、もう少し抜本的な政策の対応が必要ではないか。	市民の取組みへの理解度や評価の向上のため、今後、取組みの見える化や、事業者等のさらなる参加を促進することにより、誰もが思いやりをもち、すべての人にやさしいまち「ユニバーサル都市・福岡」の実現に向けた取組みを積極的に推進してまいります。
施策 1-1 ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり	バリアフリー設備に関し、先進的な行政では、一定規模以上の公共事業には利用者の参加を義務化するという制度があるので、福岡市においても、高齢者、障がい者など当事者の意見をきちんと聞きながら進める制度が必要ではないか。	平成29年度より施設改修等の際、障がいのある人の視点を生かし、バリアフリーへの細かい配慮に関する助言をもらう「バリアフリーのまちづくりサポーター」を開始しております。制度の活用は義務化していませんが、先進的な事例等を参考にしながら、今後検討してまいりたいと考えております。
施策 1-2 すべての人の人権が尊重されるまちづくりと男女共同参画の推進	女性の社会進出は、女性だけが頑張るのではなく、家庭や子育て等において、パートナーである男性の協力が必要なもので、そちらにも力を入れて欲しい。	企業に対する啓発活動等を行っており、必要な啓発につきましては、今後とも進めていきたいと考えております。
施策 1-3 一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり	「健康に生活している割合」の増加は、全国的な傾向。低所得の高齢層は、高所得の方々よりも死亡率が3倍というデータがあり、低所得者層が健康的に生活していけるような施策と指標が必要ではないか。	ご指摘いただいた課題に対応していくためには、高齢者の方々に元気で活躍いただくという、アクティブエイジングの推進が基本になると考えております。低所得者層が健康的に生活していけるような施策と指標については、引き続き検討してまいります。

ご意見等		回答
<p>施策 1-3 一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり</p>	<p>健康に生活している高齢者の割合が多いのは、年をとっていきなり健康になるということは当然あり得ないので、それまでの取組みが非常に重要であり、例えば「特定健診受診率」は、おそらく極めて低い状況だと思うが、このような具体的な指標を用いて、今後、指標と取組みをどうしていくのかを教えてください。</p>	<p>健康の維持増進は、健診・がん検診の機会を積極的に活用するなど、若い頃から市民一人ひとりが健康に高い関心を持ち、その実践に取り組むことが必要と考えております。加えて、高齢者の積極的な社会参加活動や支え合い活動の促進が、結果的に生きがいのある毎日を送り、健康の維持につながるという考え方に基づき成果指標を設定しておりますが、より適切な指標と取組みについて引き続き検討してまいります。</p>
<p>施策 1-3 一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり</p>	<p>健康寿命が全国平均より少し低い原因は、急激な人口増によるものなのか、あるいは、救急医療とか延命医療の施策が充実しているからなのか、仮説などがあれば教えてください。</p>	<p>健康寿命については最新値が平成22年と少し古く、はっきりした説明ができませんが、特に女性の結果が悪く、要介護状態になる原因として、女性がロコモティブシンドローム、男性は生活習慣病が多い。昔痩せていて、太ったら急に膝や腰が悪くなり、そこで要介護状態になるという方がかなりいらっしゃいますので、ロコモティブシンドローム対策などを頑張ろうと考えております。女性の飲酒量が全国に比べて少し多い実態はありますが、はっきりしたことはわからない状況です。</p>
<p>施策 1-7 子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり</p>	<p>隠れ待機児童、未入所児童は、福岡市は全国で10番以内であり、この部分もしっかりと見ていくべきだ。</p>	<p>保育所の整備は、保育需要の伸びに伴い鋭意行っておりますが、働く女性の増加等に伴い、保育所の申し込み数、申し込み率が大変上昇しており、待機児童が発生しています。 このため平成29年度は、当初予算として過去最大の2,000人分の整備に加え、申し込み率の急激な伸びに対応して補正等でさらなる整備の追加を行い、待機児童の解消に向けて計2,500人分の保育所等の整備に努めております。</p>
<p>施策 1-7 子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり</p>	<p>成果指標の「子育ての環境の満足度」は高いが、「子どもの健やかな育ち・安心して生み育てられる社会づくり」についての満足度が低い理由を教えてください。</p>	<p>60ページの表につきましては、子どもがいない世帯が「どちらでもない」という形でアンケートに回答していることも考えられます。</p>
<p>施策 1-8 自ら考え、学び、行動する子ども・若者の育成</p>	<p>「学校の教育活動に対する満足度」で、市民対象と同じ表現で保護者対象では57.8%と、6割近く満足しているのが、市民全体では中間目標35%に対して現状値が26%と、ものすごく乖離があるがなぜか。保護者と市民で聞き方が違うのか。</p>	<p>設問は同様であります。市民全体の調査では、保護者以外の方も対象としていることから、「わからない」という回答や無回答の件数が多く、相対的に肯定的評価の割合が減っているものと考えております。 参考までに市民全体調査の結果から「わからない」及び「無回答」を除いた場合、肯定的評価は平成28年度で70.7%となっております。</p>

ご意見等		回答
<p>施策 2-1 支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化</p>	<p>地域デビュー事業の予算を復活できないか。</p>	<p>地域デビュー応援事業は、町内会・自治会の担い手、参加者が少ないということで、「どうぞいろいろな事業をやってください」という事業であり、全く新しい事業を行われる場合は、3年間で1年目10万円、2年・3年目が5万円という形で支援しており、いろいろな町内会・自治会で新しい事業をやっていただきたいと考えております。なお、既に行われている事業を見直したりリニューアル事業ということで行われる場合は、3年間・毎年5万円で支援しておりますので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>* 多くの自治会・町内会に事業を実施していただきたいと考えているため、1団体につき1事業、3年を限度としております。</p>
<p>施策 2-1 支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化</p>	<p>地域をどうやって支えていくかという問題について、縦割りの取組みではなく、高齢者も障がい者も子育ても一体的に支えていく必要がある中、行政が言うだけではなく、地域が主体的に「こうしよう、ああしよう」と言えるような地域の人材づくりや、社会資源の発掘をどう進めていくかという視点で取組んでほしい。</p>	<p>自治協議会と行政がパートナーとして、企業や商店街、NPO、大学など様々な主体と地域の未来を共に創り出す「共創」の取組みを推進するとともに、公民館と連携しながら、地域の人材づくりに取組んでまいりたいと考えております。</p>
<p>施策 2-2 公民館などを活用した活動の場づくり</p>	<p>公民館が月に1回、休日に休むことで、居場所のない方たちがたくさんいらっしゃる。公民館を全部閉めるのではなく、誰かに鍵を預けることなどにより公民館の利用ができる形が取れないか。</p>	<p>公民館は、住民の皆様により多くの地域コミュニティ活動の機会が提供できるよう、原則として年末年始を除き開館しておりますが、施設のメンテナンスや職員の研修等に充てるため、月1回を限度として臨時休館を行っております。なお、休館日については、公民館だよりなどでお知らせしております。</p> <p>鍵を預けることにつきましては、公民館職員以外の方が館外に鍵を持ち出すことが施設管理上問題があること、また、鍵を預かっていただく方のご負担もあることなどから困難であると考えておりますのでご理解いただきたいと思います。</p>
<p>施策 3-1 災害に強いまちづくり</p>	<p>福岡市の地域防災計画のうち、原子力災害の基本計画、避難計画では、屋内退避を基本とされているが、状況によっては屋外退避せざるを得ないときに、155万の市民が深刻な原子力災害からどう避難をしていくのかという視点もしっかりと入れていくべきではないか。</p>	<p>福岡市は地域防災計画及び原子力災害避難計画のなかで、空間放射線量率に応じて屋内退避や一時移転を定めており、仮に大規模地震が発生し屋内退避ができない状況になった場合は、的確に最寄りの避難所に誘導してまいりたいと考えております。155万人市民に対する避難についても、地域防災計画に基づき適時的確な避難が行えるよう、日ごろの訓練並びに市民意識の啓発を図ってまいりたいと考えております。</p>

ご意見等		回答
<p>施策 3-1 災害に強いまちづくり</p>	<p>「災害に強いまちづくり」について、いま計画されている避難行動、どこの避難所に何人収容できて、その食べ物や飲み物等が現実に沿った内容になっているかについての評価も示してほしい。</p>	<p>地域防災計画においては、「1人につき2㎡程度の面積を基準として50人以上を収容できる施設」を一時避難所として、公民館等193か所を指定しており、「1人につき4㎡程度の面積を基準として100人以上を収容することができる施設」として、小学校等238か所を指定しております。</p> <p>また、避難所で必要となる食料等につきましては、福岡県が実施した調査に基づいて算出した被害想定により、平成29年度中に27万食(3万人×3食×3日)の飲料水・レトルト米等を備蓄するとともに、新たに9/1の防災の日を含む一週間を「備蓄促進ウィーク」とし、家庭においても3日分程度の食料を備蓄するよう促進する取組みを行っております。</p>
<p>施策 3-1 災害に強いまちづくり</p>	<p>災害復旧では、地域全体という視点から、市民生活が早く立ち直るということに加えて、地域経済も早く立ち直るという視点があつてよいのでは。</p> <p>非常時には限られたリソースと時間の中で優先劣後をつけた復旧等が必要であり、道路、水道だけでなく、電力・ガス事業者に対する復旧の優先順位の考え方についても、BCPの中で入れていくことが重要ではないか。</p>	<p>地域防災計画では、企業においても災害時に重要業務を継続するためのBCP策定を求めており、福岡市といたしましても、災害時に市民生活の再建に欠かせない地域経済の速やかな復旧・復興を支援してまいります。</p> <p>また、災害時のライフラインの復旧につきましては、地域防災計画において九州電力や西部ガスなどの各企業が定める計画に基づき、市と連携して対応することになっております。</p>
<p>施策 3-4 ルールが守られ、人にやさしい安全なまちづくり</p>	<p>観光や転勤等で訪れる人にとって、電車の乗り方や、自転車のマナーなどで、老若男女の文化的センスの厚みを感じられると、その都市に良いイメージを持つようになると感じるため、今後もキャンペーンなどをお願いしたい。</p>	<p>福岡市では、「人に優しく安全で快適なまち福岡をつくる条例」において、10月1日を「モラル・マナー向上市民運動の日」と定め、自転車安全利用や地下鉄の乗車マナーアップ、歩行喫煙の防止などの働きかけを行うキャンペーンを実施し、市民のモラル・マナー向上に取り組んでおります。</p>
<p>施策 4-2 循環型社会システムの構築</p>	<p>事業系ごみをどうやって減らしていくのか。再利用していくのかが肝だと思うので、どういう目標を立ててどれだけ進んでいくのかを示してほしい。</p>	<p>清掃工場に搬入されるごみには、資源化可能な古紙や食品廃棄物が多く含まれており、特に事業系ごみへの重点的な減量・資源化の取組みを進めております。</p> <p>具体的には、事業系ごみを現在の約28万トンから、平成37年度までに約6万トン減量させるため、古紙及び食品廃棄物の資源化施設の誘致や当該施設への誘導等に取り組んでおります。</p>
<p>施策 4-2 循環型社会システムの構築</p>	<p>きれいなまちというのは、ほかに誇るべき施策なので、リユース・リサイクルなど3Rをどんどん進めてほしい。</p> <p>広報・啓発だけではなく、きれいなまちを印象づけるために、いろいろな意味で取組みを広げてほしい。</p>	<p>夜間戸別収集は昼間の都市美観・衛生等を確保できる本市が誇るべき制度であり、機会を捉えて制度の内容とメリット等を広報・啓発してまいります。</p> <p>市民や事業者の3Rへの取組みにより、市民一人一日あたりの家庭ごみ処理量やリサイクル率は目標どおり進捗しておりますが、社会情勢の変化等によりごみ処理量がほぼ横ばいとなっており、今後とも2R(リユース・リデュース)に重点を置いた3Rの取組みを進めてまいります。</p>

ご意見等		回答
<p>施策 4-2 循環型社会システム の構築</p>	<p>ごみの問題については、環境局は旗振り役で、全庁的にどうやってごみの問題に取り組んでいくかという視点や、観光やインバウンドの負の課題としてのごみ問題に、どのように全庁として取り組んでいくのかという視点を持ってほしい。</p>	<p>全庁的な会議等を通じ、市役所一丸となって各種イベント等での適正分別や発生抑制を呼びかけていくほか、大規模商業施設や空港・港湾施設等での排出指導、「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」等による食品廃棄物の減量等も取り組んでまいります。</p>
<p>施策 4-2 循環型社会システム の構築</p>	<p>「3Rの推進」に関して、新聞紙や雑誌などは「燃えるごみ」で出されがちであり非常にもったいないため、回収方法について、地域で取り組めるような簡単な方法・手法が考えられないのか。</p>	<p>雑がみの回収については、様々な媒体を利用して、リサイクル可能な紙の種類や回収場所等の情報発信を強化するとともに、市民が簡単に取組める手法について検討してまいります。</p>
<p>施策 5-3 情報アクセスや回遊性など、来街者にやさしいおもてなし環境づくり</p>	<p>観光情報サイト「よかなび」のアクセス数が減っており、リニューアルした結果PV数では測れなくなったとあるが、代替りとなる指標を示してほしい。</p>	<p>観光情報サイト「よかなび」につきましては、スマートフォンの普及に対応し、少ないページ間移動で目的の情報を得ていただけるよう、サイトを全面リニューアルしたものでございます。 リニューアルに対応した指標といたしましては、補完指標として新たに「よかなび」へのスマートフォンでの訪問数を設定しております。 なお、スマートフォンでの訪問数は、サイトリニューアル前よりも増加しております。</p> <p>* 補完指標:「よかなび」へのスマートフォンでの訪問数 * 平成27年度:138万回→平成28年度(リニューアル後):148万回</p>
<p>施策 5-3 情報アクセスや回遊性など、来街者にやさしいおもてなし環境づくり</p>	<p>魅力のある観光地の評価において、リピート率やロコミ率が、先進的な指標のようなので、補完的な指標とすることを検討してもいいのでは。</p>	<p>福岡市内の観光に係る評価の指標について、今後検討してまいります。</p>

ご意見等		回答
<p>施策 5-3 情報アクセスや回遊性など、来街者にやさしいおもてなし環境づくり</p> <p>施策 6-3 地域経済を支える地場中小企業などの競争力強化</p>	<p>インバウンド対応として、今後2019年、2020年も大型イベントがあるので、ぜひ伝統芸能や祭りの分野にも目を向けてほしい。</p>	<p>現在、市内の各エリアにある歴史・文化資源等を観光に活用し、地域経済の活性化や地域振興に繋げる取組みを進めております。今後の大型イベントに向け、様々な分野の地域資源を磨き上げ、外国人観光客受入に向けた魅力づくりに取組んでまいります。</p>
<p>施策 6-3 地域経済を支える地場中小企業などの競争力強化</p>	<p>成果指標「全国の中小企業従業者数に占める福岡市の割合」は何の意味があるのか。 中小企業は、後継者不足と高齢化が深刻な問題になっており、小規模事業者数が激減している。こういう指標をつけ加えていかなければ、中小企業などの競争力、地域経済について正しく見ることができないのでは。</p>	<p>成果指標は、事業者数、事業所数、あるいは従業者数での目標設定を考え、単純な増減だけでなく、全国的なトレンドの中で福岡市がどうであるかということが比べられたほうがいいのではないかと想定し設定しております。中小企業従業者数は、全国では2014年比で2.7%増に対して福岡市は8.8%増となっており、全国でも中小企業の従業者数が増える中、福岡市はそれをさらに上回るスピードで従業者数が増えている、中小企業がしっかりと福岡市の雇用と経済を支えているということがはっきりとうかがえる指標ではないかと考えております。 また、平成29年度以降に新たな施策を打っていく際の成果指標のあり方については、補完指標の設定とあわせて検討していきたいと考えています。</p>
<p>施策 6-3 地域経済を支える地場中小企業などの競争力強化</p> <p>施策 6-5 就労支援の充実</p>	<p>中小企業の場合、採用のために充てる人材や資金の確保が課題であり、実質的にはハローワークに求人を出す「待ちの求人」が実態になっているため、この点での支援もお願いしたい。</p>	<p>中小企業にとって、人材確保が一番の経営課題という認識のもと、人材不足に悩む企業が自社の採用手法を再検討して採用力の向上を目指す取組みを支援する「中小企業人材採用支援事業」を実施しております。 また、雇用や労務に関する経営相談や専門家派遣により、人材確保に取り組む企業への個別支援を行っております。</p>

ご意見等		回答
<p>施策 6-3 地域経済を支える 地場中小企業など の競争力強化</p> <p>施策 6-5 就労支援の充実</p>	<p>仕事は一定程度ある中で、マッチングがなかなか難しいが、地域経済をどう活性化していくか、その上で若い人たちの仕事、就職とか雇用のあり方をどうするかという視点も持って取組む必要がある。</p>	<p>15歳以上の求職者を対象とした各区の就労相談窓口において求職者の希望や経験などを踏まえた求人企業の開拓や紹介を行うとともに、新卒者などを対象とした合同会社説明会の開催など、学生や地場企業のマッチングの機会を提供しております。</p>
<p>施策 7-1 新たな挑戦を応援 するスタートアップ 都市づくり</p>	<p>スタートアップの累計で、実際この95社が今も健全に経営ができて いるのか、市としてどうフォローしているのか。 成果指標の「新設事業所数」の定義が変更になっているとのことな ので、新たな目標をどう設定するのか。</p>	<p>現在、スタートアップカフェ利用者が起業した企業の全てについて市のほうで チェック・アンド・フォローをしているわけではありませんが、例えば「Fukuoka Growth Next」、いわゆるスタートアップ施設でスタートした企業や、その施設に 入居している企業については、適宜情報を仕入れて、何かご相談があれば施 設でフォローする体制をとっています。 成果指標については、もっと客観的に見られるような補完指標等も検討しなが らチェックをしてまいりたいと思っております。</p>
<p>施策 7-1 新たな挑戦を応援 するスタートアップ 都市づくり</p>	<p>スタートアップカフェ利用者の起業件数が95社であるが、雇用がど れだけ広がって、その経済効果はどうなのかについても注視してほしい。</p>	<p>スタートアップカフェ利用者の起業状況については、利用者からの申告等によ り把握しておりますが、雇用者数や経済効果等については把握できていないた め、今後、状況を把握する方法を検討してまいります。</p>
<p>施策 7-1 新たな挑戦を応援 するスタートアップ 都市づくり</p>	<p>スタートアップは、IT系やクリエイティブ系ばかりじゃなく、生活支援 系や飲食店も多いため、スタートアップ支援の拠点については、都市 の多様性、魅力なども踏まえ、商店街の空き店舗や小学校の跡地、 中山間地域などへの配慮も欲しい。</p>	<p>スタートアップ支援施設Fukuoka Growth Nextにおいては、IT系やクリエイティ ブ系の企業のみならず、様々な業種の企業への支援を行っておりますが、今後 は商店街の空き店舗などの活用も検討してまいります。</p>

ご意見等		回答
<p>施策 7-1 新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり</p>	<p>他地域との競争という視点で、スタートアップ事業だと、他の地域でも「自分の都市がスタートアップに一番向いている」と言っているのので、他地域と比べてどのようなアウトパフォームをしているのかという視点は大事だと思う。</p>	<p>全国でスタートアップ支援の取組みが活発になっているところですが、福岡市においては、エコシステムの醸成、スタートアップ支援の集約を重視した取組みを行っているという点で、他地域と差別化を図った支援を行っております。 今後もスタートアップ施策や指標の検討を進めるにあたっては、他地域との差別化も意識しながらグローバル創業都市・福岡の推進に貢献してまいりたいと考えております。</p>
<p>施策 7-5 チャレンジする若者や女性が活躍するまちづくり</p>	<p>若者率は、なぜ「全国平均との差」を成果指標にしたのか。これは社会動態に関することで、行政が何か努力しようがあるのか、目標達成していないが、どうするのか。</p>	<p>若者率に関する指標は、九州の拠点都市としての役割を果たしていく上で、チャレンジする若者が多く集まり、活躍するまちづくりを目指している福岡市の状況を把握するための、指標の1つとして設定しているものです。 「全国平均との差」とした理由は、若者率が全国的に減少傾向にある中で、全国の推移と比較し、より高い水準を目指すためでございます。 福岡市では総人口が増加し、今後の活躍が期待される15歳未満の人口も増加している中で、若者の体験・活躍の場や機会づくりなどの取組みを着実に推進しているところであり、今後とも、チャレンジする若者が活躍するまちづくりを目指して取組んでまいります。</p>
<p>施策 7-5 チャレンジする若者や女性が活躍するまちづくり</p>	<p>ミニふくおかについて、一部ではなく全ての児童生徒が体験できることが必要であり、会場の変更にあわせて検討してほしい。</p>	<p>現在、31年度以降の会場について検討しているところであり、会場の移転に併せて参加の仕組みについても検討してまいります。</p>
<p>施策 7-5 チャレンジする若者や女性が活躍するまちづくり</p>	<p>「若者の健全な育成の取組み」では、子どもに重点が置かれているが、若者の健全な育成には、これから家族をつくり、子育てをしていく、思春期や成熟期に向けた若者の育成などに関する施策が必要である。</p>	<p>資料には事業名として一つしか掲げておりませんが、施策体系としては四つの取組みがあり、まず、「子ども・若者の健全育成の取組み」の大きな柱があり、子どもの遊び場や活動の場をつくっていくという取組み、子ども・若者の自己形成の支援や、子ども・若者の社会的自立に向けた取組みを行っております。あわせて、子ども・若者の安全を守る取組みと非行防止、こういった総合的に健全やかな成長を促していく取組みをこども未来局で進めております。</p>
<p>施策 7-5 チャレンジする若者や女性が活躍するまちづくり</p>	<p>若年人口の、「全国との比較」というのは違和感があるが、数年先の話であれば、15歳未満のところが増えてきている中で、将来15歳から29歳の割合をどう増やすのかというのは、流入を増やして流出を抑える施策という認識で合っているか。</p>	<p>東京圏には、福岡市から転出超過しておりますが、九州からの転入が多いという状況で、若者率が全国比で高くなっています。施策に関しては、東京圏への転出を抑えていくため、雇用を増やす施策を行っております。</p>

ご意見等		回答
<p>施策 8-5 グローバル人材の育成と活躍の場づくり</p>	<p>外国人が住みやすいまちを目指す上で、保育所に日本語しか話せない保育士だけで外国人の子どもを預かるという現状などもあるので、ホスピタリティー、教育、子育て支援等の部分も検討して欲しい。</p>	<p>福岡市内で外国人が暮らす上でのニーズがどういうところにあるのかということ把握しながら取組んでいくものと考えております。</p>
<p>総合戦略</p>	<p>中小企業等はいま大変な人手不足の状況にあり、競争力を上げるためには継続性及び生産性を上げることが最も重要であるため、大手企業と比較して、人材の教育や働く環境の整備がなかなか進まないというところへの支援ができないか。</p>	<p>企業が、「魅力ある職場づくり」、「生産性の高い企業」をめざして、自主的、積極的に労働環境や職場環境の改善、人材育成など、「働き方改革」に取り組むことが重要であり、その取組みの意欲がある企業への支援を強化する必要があることを認識しております。</p>
<p>総合戦略</p>	<p>総合戦略のKPI(指標)について、例えば基本目標Ⅰの(エ)の「外国人の来訪者数」は、既に2016年で2019年の目標を達成している。このような既に目標を達成しているものについて、今後どのように施策に取り組むのか、また、新たなKPIを作成する等の見直しをするのか、考え方を教えてほしい。</p>	<p>目標値を既に達成しているものは、引き続き、増加・向上に向けて取組みを進めるとともに、目標自体をより適切に表す指標などについて検討、研究を進めてまいりたいと考えております。</p>
<p>総合戦略</p>	<p>総合戦略の基本目標Ⅰの(イ)のKPIである「博多港、福岡空港における貿易額」は、初期値が4兆491億円に対して2016年が3兆7,885億円で、若干減少している中で、評価を「A」としている考え方を教えてほしい。</p>	<p>総合戦略の「指標の評価」は、「基本計画に係る実施状況の報告(案)」と同じ内容としているため、「A」評価としております。</p> <p>基本計画では、初期値を2011年の3兆1,870億円、目標値を2022年の4兆円としております。</p>
<p>総合戦略</p>	<p>総合戦略の(ア)で、「クリエイティブ関連産業事業所数」が増加しているが、クリエイティブ関連産業事業所というのはどういう事業者なのか。また、この事業所数は福岡市の全事業所数の何%ぐらいなのか。</p>	<p>クリエイティブ関連産業事業所数は、総務省統計局が行っている経済センサスから福岡市独自の分類に基づき抽出を行っているもので、抽出している具体的な産業分類といたしましては、ソフトウェア業、映像・音楽・文字情報制作業、広告業、デザイン業等がございます。</p> <p>また、クリエイティブ関連事業所数は、平成26年時点で、市内の全事業所数74,256に対し、2,490あり、市内の全事業所数のうち、約3.4%を占めております。</p>
<p>交付金事業</p>	<p>「IoT拠点形成事業」の指標である「IoTネットワーク参画企業・大学・団体等数」の達成率が、533%と非常に高いが、この要因を教えてほしい。</p>	<p>参画企業等が目標30に対して160になった理由として、目標を立てる時点では、関連の団体や企業の感触から概ね30としましたが、結果は160となり、想定以上の関心をお持ちいただいたと考えております。</p>

ご意見等		回答
審議会当日にご欠席された委員からのご意見とその回答		
評価	どのような考え方で施策の評価をしているのか。	施策ごとの評価については、①「成果指標等の達成状況」、②「施策を構成する事業の進捗状況」、③「施策に関する社会経済情勢」を踏まえた上で、総合的な評価を行っております。
施策 1-3 一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり	施策1-3は、市民の健康維持と社会参加などのアクティブ・エイジングの促進を意図していますが、成果指標は前者の高齢者の健康維持だけであり、高齢者の就業やボランティア活動参加などの指標が設定されていない。	成果指標としては、高齢者の積極的な社会参加活動や支え合い活動の促進が、結果的に生きがいのある毎日を送り、健康の維持につながるという考え方にに基づき設定しておりますが、施策の評価がより客観的でわかりやすいものとなるよう、高齢者の就業やボランティア活動参加に関する指標などの成果指標を補完する指標等について、今後とも検討してまいります。
施策 3-1 災害に強いまちづくり	施策3-1では、施策事業の体系のひとつとして、地域防災力の強化が重視され、成果指標2として、「自主防災活動の参加率」が挙げられているが、事業の進捗状況では、地域住民の関与が含まれていないのは不十分ではないか。	地域防災力の強化については、地域防災力の向上事業など、災害時に地域で支え合える仕組みづくりに向けて、地域住民と一体となった取組みも進んでいるところです。 (「施策評価(案)概要」には、特徴的な取組みなどを抜粋して記載しており、詳細な内容については、「平成28年度福岡市基本計画に係る実施状況の報告(案)」に記載している。)
施策 5-3 情報アクセスや回遊性など、来街者にやさしいおもてなし環境づくり	成果指標1の「観光ボランティアの案内人数」は、2013年に中間目標値(11,000人)を上回る成果(12,752人)を残したものの、現時点で9,425人と大幅に減少している。 この結果から、目標値の15,000人への到達に向けて、これほど大幅な増加と減少を繰り返す要因を分析する必要がある。	2013年、2014年の急増については、NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」放送という特殊要因により、一時的に大幅な増加となったと考えております。 一方、2015年及び2016年は、その反動により減少しているものの、2011年に比べると、「観光案内ボランティアの案内人数」は増加しており、外国人観光客の案内人数も増加傾向にあるため、一時的な特殊要因の影響を除くと、全体としては増加傾向であると分析しております。
施策 5-3 情報アクセスや回遊性など、来街者にやさしいおもてなし環境づくり	成果指標1が、中間目標を下回ることで、達成状況がBとされており、施策5-3のもうひとつの成果指標2が、中間目標値に半分も届かないために、達成状況をCとしながら、施策の評価は、「○:概ね順調」とされているのは、過大評価ではないでしょうか。	「よかなび」は、2008年の運用開始から8年が経過し、文字情報中心の古い画面構成と大きく増加した掲載情報の再整理、また、急速に普及したスマートフォンへの十分な対応など利用者目線での改善が急務となったことから、2016年4月に、画像中心に情報を再整理するとともに、少ないページ間移動で、ストレス無く目的の情報に到達できるよう、サイトの全面リニューアルを実施しました。 この結果、ページ間の移動が減少し、サイト全体のアクセス数(PV数)は減少しておりますが、3大都市圏に次ぐ水準の値となっております。 また、スマートフォンに対応したサイトリニューアルに伴い、新たに「スマートフォンでの訪問数」を補完指標として設定しました。 この補完指標について、サイトリニューアル前後の2015年度と2016年度とを比較すると、増加しており、成果が出ているものと考えております。 今後とも、成果指標を補完する指標など、施策の評価がより客観的でわかりやすいものとなるよう検討してまいります。

ご意見等	回答
<p data-bbox="168 427 228 454">施策</p> <p data-bbox="168 464 221 491">7-1</p> <p data-bbox="103 493 293 571">新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり</p>	<p data-bbox="1167 256 2136 416">大幅な増加理由については、平成26年経済センサス-基礎調査の「新設事業所」の定義が変更されたこと(※)が一因と考えております。今後公表される調査結果も踏まえながら状況の把握に努め、施策の評価がより客観的でわかりやすいものとなるよう、必要に応じて適正な指標を検討してまいります。</p> <p data-bbox="1167 456 1547 483">*「新設事業所」の定義の変更</p> <p data-bbox="1167 485 2119 547">平成24年調査:「調査日現在(H24.2.1)に存続している事業所のうち、前回調査(H21.7.1)以降に開設した事業所」</p> <p data-bbox="1167 549 2136 611">平成26年調査:「調査日現在(H26.7.1)に存続している事業所のうち、前回調査(H24.2.1)で把握されていなかった事業所」</p> <p data-bbox="1167 612 2069 675">このため、定義変更後の平成26年調査については、調査期間(H24.2.1～H26.7.1)以前に新設された事業所を含む数値となっている。</p>
<p data-bbox="168 914 228 941">施策</p> <p data-bbox="168 951 221 978">7-5</p> <p data-bbox="103 979 293 1058">チャレンジする若者や女性が活躍するまちづくり</p>	<p data-bbox="1167 751 2136 911">若者率は、「総人口」に占める「15歳から29歳の人口」の割合を算出したものです。「15歳から29歳の人口」は、全国が7.1%減の中、福岡市は4.7%減にとどまっていますが、総人口に関し、全国は減少しているのに対し、福岡市は増加していることから、結果として、割合である若者率としては、差が縮まったものと考えております。</p> <p data-bbox="1167 912 2119 975">なお、今後の活躍が期待される15歳未満の人口については、全国の5.5%減に対し、福岡市は4.2%増と増加している状況です。</p> <p data-bbox="1167 976 2136 1070">また、「施策を構成する事業の進捗状況」については、各事業でそれぞれ成果を出しており、4年間の取組みとしては分野別計画での目標等に向かって、概ね順調に進んでいます。</p> <p data-bbox="1167 1072 2119 1134">これら成果指標の分析結果や、施策を構成する事業の進捗状況を踏まえた総合的な評価として「○:概ね順調」としております。</p> <p data-bbox="1167 1136 2119 1198">今後とも、成果指標を補完する指標など、施策の評価がより客観的でわかりやすいものとなるよう検討してまいります。</p>